

2026 年 7 月 14 日

各 位

会 社 名 クオリップス株式会社
代表者名 代表取締役社長 草薙尊之
(コード：4894、東証グロース市場)

当社取締役 澤芳樹が政府主催「創薬力向上のための官民協議会」への出席 に関するお知らせ

クオリップス株式会社（以下、「当社」）の取締役最高医療科学責任者である澤芳樹は、2026 年 7 月 10 日に総理大臣官邸にて開催された「創薬力向上のための官民協議会」（以下、「本協議会」）に出席し、意見陳述を行いました。

本協議会は、日本の創薬力の向上および世界とつながる創薬エコシステムの構築を目指し、政府関係者ならびに国内外の主要な製薬企業、ベンチャーキャピタル、スタートアップ、大学関係者が一堂に会して議論を行う重要な会議です。当日は高市早苗首相をはじめとする政府閣僚が出席のもと、我が国の強みを活かした創薬・研究開発の重要性や、グローバル展開に向けた戦略的投資などについて活発な意見交換が行われました。

本協議会において、澤からは、我が国の再生医療・バイオ医薬品開発における実用化への課題を指摘した上で、イノベーションを迅速に社会実装するためのエコシステム構築について、日本発の優れたアカデミアの知見や技術をドラッグラグ・ロスなく迅速に患者様へ届けるための仕組みづくりの重要性や、再生医療の本格的な産業化に向けたグローバルに通用する開発・生産体制の確立の必要性を提言しました。また、大阪・Nakanoshima Qross を中心としたスタートアップエコシステムの基盤整備について紹介しました。

当社は、産学官連携による再生医療の本格的な産業化を見据え、バイオクラスターとしてグローバルでも評価の高い関西・大阪へと本店を移転いたします。この移転の目的は、①最先端のアカデミアや製薬企業との近接性による「創薬」の加速、②関西を中心とするバイオインフラと連携した「CDMO 事業」の拡大、③異業種連携のハブとして機能することによる細胞大量製造の社会実装の実現にあります。

① 「創薬」の加速：

ヒト（同種）iPS 細胞由来心筋細胞シート（販売名：リハート®）をはじめとする最先端のプロダクトの開発・実用化とグローバル展開を加速化

② 「CDMO 事業」の拡大：

アカデミアやベンチャーの知見を円滑に商業化へ繋ぐための、製造開発受託基盤の提供

③ 細胞大量製造の社会実装の実現：

細胞の大量製造と安定供給を実現するためのコンソーシアム（次世代再生医療モダリティの開発と実用化を可能とする 細胞安定供給バリューチェーンコンソーシアム（VMaCS））の構築

当社は今後も、本協議会での議論を踏まえ、政府や関係機関、パートナー企業との連携をさらに深めてまいります。そして、大阪・関西から、独自の創薬・CDMO・大量培養のバリューチェーンを強みに、再生医療の社会実装を強力に牽引し、国内外の医療の発展と患者様の QOL（生活の質）向上に貢献してまいります。

（参考）首相官邸：創薬力向上のための官民協議会

<https://www.kantei.go.jp/jp/105/actions/202607/10souyakuryoku.html>

（本件に関するお問い合わせ先）

クオリプス株式会社 経営企画部

cuo_ir@cuorips.co.jp